

平成27年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 荒川化学工業株式会社
 コード番号 4968 URL <http://www.arakawachem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷奥 勝三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統轄部長 (氏名) 宮下 泰知

TEL 06-6209-8500

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	60,932	9.9	2,583	39.2	2,938	34.6	2,012	56.0
26年3月期第3四半期	55,442	8.4	1,856	27.4	2,183	54.5	1,289	114.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,091百万円 (△1.9%) 26年3月期第3四半期 3,150百万円 (250.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	99.55	99.47
26年3月期第3四半期	64.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	86,421	46,318	51.8
26年3月期	82,342	43,634	51.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 44,763百万円 26年3月期 42,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
27年3月期	—	13.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	8.0	3,100	32.8	3,300	22.4	1,900	27.7	93.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	20,292,600 株	26年3月期	20,150,400 株
27年3月期3Q	12,281 株	26年3月期	12,034 株
27年3月期3Q	20,213,409 株	26年3月期3Q	20,138,445 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国が力強い回復を見せましたが、ユーロ圏の低成長や中国の景気減速等により、全体としては弱い成長に留まりました。一方、国内経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、消費税増税後の内需落ち込みからの持ち直しテンポが鈍く、また、急激な円安をともなつての原材料価格およびエネルギーコストの高止まりが、製造業・素材業種の収益を圧迫しました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、第3次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や事業開発の促進に注力してまいりました。しかしながら、いまだにロジンをはじめとする原材料価格の高止まりが収益圧迫の要因となっており、製品価格の改定や経費削減に鋭意努めております。そのような状況下、海外での収益拡大により、売上、利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は609億32百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は25億83百万円（同39.2%増）、経常利益は29億38百万円（同34.6%増）、四半期純利益は20億12百万円（同56.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

国内製紙業界は、段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。一方、印刷・情報用紙は、消費税増税後の反動減からの回復の遅れもあり、需要が低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売は堅調に推移しました。利益面では、国内での原材料価格高止まりによる収益圧迫もありましたが、アジア地域における拡販が寄与し、微増益となりました。

その結果、売上高は154億19百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は8億48百万円（同0.4%増）となりました。

<化成品事業>

印刷インキ業界は、電子媒体の普及で需要が縮小傾向にあることから出版分野で低迷が続きました。一方、粘着・接着剤業界は、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要が増加しております。このような環境のもと、当事業におきましては、国内の印刷インキ用樹脂は低調に推移しましたが、粘着・接着剤用樹脂が欧州地域で伸張し、売上高は361億86百万円（前年同期比17.7%増）となりました。セグメント利益は、国内では原材料価格高止まりにより収益性が悪化しておりますが、欧州地域での拡販、機能性ファインケミカル製品の寄与等により、14億88百万円（同107.1%増）となりました。

<電子材料事業>

電子工業業界は、スマートフォンや車載向けが需要を牽引し、中でも中国メーカーが攻勢を強める低価格スマートフォンの需要は好調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、高機能スマートフォン関連用途向け光硬化型樹脂や電子材料用配合製品等が振るわず、また、アジア地域への販売拠点設置や新規製品開発のコスト負担もあり、売上高は91億6百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント損失は76百万円（前年同期はセグメント利益1億9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ40億78百万円増加し、864億21百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が6億10百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が50億65百万円、投資有価証券が11億63百万円増加したことによります。

負債は、短期借入金が11億10百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が12億22百万円、長期借入金が4億90百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ13億94百万円増加し、401億2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ26億83百万円増加し、463億18百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成26年11月4日に公表しました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を、期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

この変更による連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,668	6,685
受取手形及び売掛金	28,167	33,232
商品及び製品	8,530	8,095
仕掛品	1,069	1,110
原材料及び貯蔵品	7,878	7,655
繰延税金資産	579	385
その他	1,670	1,047
貸倒引当金	△157	△144
流動資産合計	54,406	58,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,933	7,670
機械装置及び運搬具（純額）	7,828	7,321
土地	4,724	4,788
建設仮勘定	266	359
その他（純額）	318	321
有形固定資産合計	21,072	20,462
無形固定資産		
のれん	134	83
その他	540	485
無形固定資産合計	674	569
投資その他の資産		
投資有価証券	5,480	6,643
繰延税金資産	193	176
その他	523	513
貸倒引当金	△8	△12
投資その他の資産合計	6,189	7,320
固定資産合計	27,936	28,352
資産合計	82,342	86,421

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,867	14,089
短期借入金	11,525	10,414
未払法人税等	272	524
未払消費税等	36	213
賞与引当金	989	500
役員賞与引当金	40	33
修繕引当金	-	77
設備関係支払手形	212	102
その他	3,103	3,834
流動負債合計	29,047	29,791
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	2,079	2,569
繰延税金負債	968	1,389
修繕引当金	37	-
退職給付に係る負債	1,015	784
資産除去債務	88	89
その他	470	477
固定負債合計	9,660	10,311
負債合計	38,708	40,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,128	3,189
資本剰余金	3,350	3,410
利益剰余金	32,599	34,086
自己株式	△11	△11
株主資本合計	39,066	40,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,370	2,116
為替換算調整勘定	1,714	1,734
退職給付に係る調整累計額	256	237
その他の包括利益累計額合計	3,342	4,088
新株予約権	27	23
少数株主持分	1,199	1,531
純資産合計	43,634	46,318
負債純資産合計	82,342	86,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	55,442	60,932
売上原価	44,900	49,494
売上総利益	10,541	11,438
販売費及び一般管理費	8,685	8,854
営業利益	1,856	2,583
営業外収益		
受取利息	7	24
受取配当金	107	116
不動産賃貸料	86	90
為替差益	262	204
その他	145	183
営業外収益合計	609	619
営業外費用		
支払利息	196	197
持分法による投資損失	12	26
社債発行費	28	-
その他	45	40
営業外費用合計	282	264
経常利益	2,183	2,938
特別利益		
固定資産売却益	1	21
受取補償金	-	※ 445
特別利益合計	1	467
特別損失		
固定資産除売却損	105	18
特別損失合計	105	18
税金等調整前四半期純利益	2,079	3,387
法人税、住民税及び事業税	346	767
法人税等調整額	331	321
法人税等合計	677	1,088
少数株主損益調整前四半期純利益	1,401	2,298
少数株主利益	112	286
四半期純利益	1,289	2,012

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,401	2,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	557	745
為替換算調整勘定	1,175	62
退職給付に係る調整額	-	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	16	4
その他の包括利益合計	1,748	792
四半期包括利益	3,150	3,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,894	2,758
少数株主に係る四半期包括利益	255	332

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 受取補償金の内容

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

連結子会社である廈門荒川化学工業有限公司において、都市計画の変更にもなう事業拠点の移転要請により、補償金を受領しております。受領金額より移管費用や固定資産除却損等を控除した金額を特別利益として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,964	30,754	9,503	55,221	220	55,442
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	67	—	67	33	101
計	14,964	30,822	9,503	55,289	254	55,543
セグメント利益	845	718	109	1,673	8	1,681

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,673
「その他」の区分の利益	8
全社費用の配賦差額(注)1	269
営業外損益(注)2	△95
四半期連結損益計算書の営業利益	1,856

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,419	36,186	9,106	60,711	220	60,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	72	—	72	19	91
計	15,419	36,258	9,106	60,784	240	61,024
セグメント利益又は損失(△)	848	1,488	△76	2,261	11	2,272

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,261
「その他」の区分の利益	11
全社費用の配賦差額(注)1	373
営業外損益(注)2	△62
四半期連結損益計算書の営業利益	2,583

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。